

出前講座 報告書

開催日時	令和4年11月11日(金) 午前10時00分～11時45分		
開催場所	伊賀市社会福祉会館 伊賀市社会福祉協議会 本部(伊賀市平野山之下380番地5)		
申請団体等名称	伊賀市社会福祉協議会		
テーマ	・地域福祉全般についての現状と課題(福祉介護人材の確保、介護予防の推進など) ・通所介護事業所等の今後について		
委員会名等	教育民生常任委員会		
出席議員	(委員長)北森徹、(副委員長)西田方計、釜井敏行、濱瀬達雄、桃井弘子		
	市川岳人、赤堀久実	(傍聴議員)百上真奈	記録者 西田 方計

【講座・意見交換等の主な内容、対応等】

- ・社会福祉協議会の歴史や活動内容(特にコロナ禍における支援や助け合い運動の展開)の紹介
- ・最近の取り組み 「おたがいさま便」(R3.1～)、「いが学生エール便」(R4.1～)
「フードドライブ、フードパントリー」(R4.6～)
- ・厚労省「見える化」システムに基づく直近の福祉現場における課題について(15法人まとめ)
 - ①職員の枯渇…主力が40～50代であり、若い世代がいない中、10年後の福祉現場が描けない。
※社協としては、定年60歳を65、70と条件を付け延長。特別延長75歳も運用。
 - ②受給率に占める要介護度の偏り(要介護度3・4・5が多い)
地域密着型通所介護(デイサービス)の利用の少なさ
→介護予防段階が手薄(施設少、事業少)で、重度化を促進してしまっている。
限られた人材を重度者に振り当てるためにも、軽度者が軽度のままでいられるサロンや
デイサービスなどコミュニケーションを活性化できる環境を充実していく必要がある。
- ・愛の里のデイサービス終了の件
伊賀町時代、介護保険開始前からの流れで社協が運用してきた。施設は老朽化、所有者である市の修繕支援はビルトイン型の光熱装置であるにもかかわらず実施不可とのこと。
逆に目的外使用として市に建物使用料を払ってきた。残念ながら年度末で終了することに。
6/7理事会承認。9月に利用者説明。現在約半数が受け入れ先調整中。

- 人材育成・人材確保の手だてや介護職(福祉職)の待遇を考えていかななくてはならない。
- 介護予防・日常生活支援総合事業など介護予防につながる方策の充実をしなければならない。

伊賀市議会議長 様

令和4年11月14日

議会出前講座実施要綱第11条第1項の規定により提出します。

教育民生常任委員長 北森 徹